（本號八面）　（明治廿五年一月十日　郵便報知新聞第三千九百六十六號　認可）　明治二十七年五月十二日　第三千九百六十六號　（定價金二錢五錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價（府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す）

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ）

前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事と御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國内並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯德、清國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行　二　付	十三錢	十一錢	十錢五厘

廣告料定價　時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の内には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絶する事もあるべき筈に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社國一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からされば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

第六議會

はいよ〳〵本日を以て召集せられ議長選擧等の手續を經て兩三日の中に開會するみとなる可し今度の會期は僅に二十日間にして休日等を除けば正味の日數十七八日に過ぎず且つ政府の提出案とても特別重要のものもなきよしなれば全く儀式上の會議にて濟むみとならんと思ひの外、昨今の樣子を見れば民黨の人々は六派の聯合なと唱へて内の魂胆・外の運動、頗る騒々しく或は開會第一に前議會解散の不當を論じて政府彈劾の上妻を爲す計畫なりとか云へり又彼條約屬行案の如き昨年のまゝにては到底通過の見込なし左ればとて全く見合はするときは民論の情實にも關する次第なればとて何とか工風を運らして當らず障らずに議場を通過せしめんとの趣向もあるよし隨分賑〳〵しき有樣にはいよ〳〵開會の上ならでは實際の形勢を詳にするみと能はざれども右の彈劾案屬行案の如きものが議場を通過して之に次ぐに例の如く議會自から休會の決議を爲すにも至らば如何す可きや尋常普通の政府ならんには前の解散の理由に對しても是非とも再度の解散を斷行せざる可らず分り切つたる道理なれども果して其れまでの決心ある可きや否や現内閣の當局者は八方美人の名を博したる如く善く云へば手管に巧なるものならんかなれども悪く云へば臭怯未練の譏を免れずして對議會策の如き曾て一定の方針を見ず前回の解散の始末とても百方彌縫の末、止むを得ざるの手段に出でたるのみ最初より確乎たる決心のありて然るものとは認む可らざるが如し左れば今回とても甚だ不安心の至りにして議會の擧動いよ〳〵看過す可らざる場合に立至りても引續き再度の解散とは事體穏かならず次期の議會も遠きに非ざれば今回は兎も角も彌縫して決斷は次に讓るふを得策なれなど一種の情實談を生ずるけれざるの常にして或は不可思議の成行を見るやも知る可らず今度の始末にして果して斯くの如くなれば今後の成行も亦推知す可し誠に頼母しからぬ次第にして我輩は最早や重きを置くことを欲ざるものなれども爰に看過す可らざるは一般人民の利害にして目前に處理經營す可き重要の國務を差置きながら政府も議會も共に自家の爭にのみ忙はしとありては到底永く堪へ得べきに非ず議會の擧動が一般の望を失はしめたるは敢て今日に始まりたるに非ず人心の既に厭ふ所にして只一樣の望を政府に屬したるみとなれども今や其政府の處置も亦斯くの如くにして頼むに足らざるを見るときは天下公衆は全く政府に望を絶ち議會政府を擧げて共に改造するの必要を感ずるに至るやも知る可らず當局者の宜しく注意す可き所なり

雜報

○屬行論の變遷史　去年來政論家の一問題となり遂に政派軋轢の種子となり居る屬行論は其由來久しく其變遷の跡大略左の如しと

（一）義兵鎮國　（二）非内地雜居　（三）内地雜居尚早
（四）條約屬行　（五）自主的外交　（未）開國進取　（來）西園寺公望侯は一

○西園寺侯の副議長辭任　昨日幡書院廳問官に任ぜられしに付貴族院副議長を辭任するみと〳〵なり同日辭表を認め金山貴族院書記官を通して同夕刻宮内省に出頭し其筆奏方を依頼せしめたるに昨日御裁可になりたるよし

○追加豫算案　今回の議會に提出する二十七年度の追加豫算案は印刷製本共既に出來上りて何時にても提出し得る樣に爲り居るといふ

○貴族院と監獄費國庫支辨　監獄費國庫支辨法律案は財政革新會の主旨に依りて尾崎三良氏より提出し來る十七八日頃の貴族院議事日程に上るならんとの事なるが此程の懇話會には尾崎氏自から出席して各員の贊成を求めたるに同會は大概之に贊成する事となり三曜會は其贊否如何を各員の隨意としたれども實際一二名を除くの外反對者なく茶話、研究兩會も略同樣にして殆ど全會一致の贊成なりと云へば同案は今回も亦格別の議論なくして貴族院を通過するならんと云ふ

○特別輸出港追加法律案　昨年の議會に政府より提出したる鹿振國室蘭港を特別輸出港に追加の法律案は本年の議會にも提出する筈なりと云ふ

○院外硬派の交渉　院外硬派の人々百三十名は一昨夜六時より伊勢勘に會して懇親會を開き無所屬議員遊説の方法等に就き協議を遂げ猶昨日午後三時より各派の委員を東京ホテルに會し運動の方略を協議するみとに決し散會したり

○全國製茶産額　製茶の産額は生絲程に長足の進歩を爲さゞるも二十九年百八十二萬餘貫に達し品種に於ては煎茶四十一萬千九百六十三貫、番茶四萬千三百二十七貫、碾茶、烏龍は減じ玉露、釜煎、紅茶は增せり十九年以來の累年産額は左の如し

	碾茶	玉露	煎茶	番茶	釜煎
十九年	二一八貫	二一四貫	三七五六一貫	二六一貫	二一〇〇
二十年	二一五五	二一九	三七六一	二六〇	二一〇
二十一年	二一七六	三一〇五	三七六一	二六〇	二一〇
二十二年	二一七七	三一〇五	三七六一	二六〇	二一〇
二十三年	二一七七	三一〇五	三七六一	二六〇	二一〇
二十四年	二一七七	三一〇五	三七六一	二六〇	二一〇
二十五年	二一七七	三一〇五	三七六一	二六〇	二一〇

又製茶の産額を輸出額に對照する時は輸出の數量常に百中の七八十を占め其比較は左表の如し

	内國産出數	外國輸出數	産出數輸出數比較
二十一年	四五三三〇一八斤	六一一二四八一六	一〇〇
二十二年	四五三三〇一八	六一一二四八一六	一〇〇
二十三年	四五三三〇一八	六一一二四八一六	一〇〇
二十四年	四四三三〇一八	六一一二四八一六	一〇〇
二十五年	四四三三〇一八	六一一二四八一六	一〇〇

○東京商品取引所兩派の合同　東京商品取引所九品派の專任委員は一昨夜靈岸島川交に會し兩派合同の件に關し前會に引續き協議したるが各部の發起人大抵合同に異議なき樣樣見えたるより此際改めて發起人總會を開くの煩を避け專任委員會にて合同を承諾するみとに決定して散會したりと云ふ左れば兩派の打合せを爲したる上近日に資本金增加の追願書を差出すと同時に三品派の追願書下げ戻しの手續を爲すべしとなり

○全國々立銀行者の大會に就て　全國々立銀行者大會は愈〳〵來る十五日江東中村樓に開くみとに内定したるが一昨日までに上京したるものは既に二十餘行に及びたれば昨日午後より大會事務所なる呉服橋外柳屋に發起人會を開き大會の議事に就て協議する處ありたりと云ふ

○延期請願運動は無効ならん　來る十五日江東中村樓に開く全國々立銀行者大會の目的は表面上營業滿期後の善後策を研究すと云ふにあれども其實延期請願にあるみとは發起者たる中國四國九州各同盟銀行の決議によるも明かなる次第なるが政府に於ては兩三日前の閣議に於て愈〳〵國立銀行は營業滿期後株主の多數決によりて私立銀行に轉報するを得との法案を今回の議會に提出するみとに決したりと云へば折角銀行者が大會を開きて延期請願の運動を爲すも恐らく其効なかるべしと云ふ

○參宮鐵道重役　臨時總會の結果更に尾崎三良氏を選擧し其の紙上にも記載したる如く會社は事業の割合にて株券は今日に至るまで等は同社の前途を憂ひしものにして下七郎氏は所有株券を監査役熊井市八氏に、同渡邊洪基氏に、同柴田熊太郎氏に、同柴田熊太郎氏は八十二點にして辞計すべき地位にあり

○馬車鐵道の收益　月一日より同十日迄の收益金六千三百二十七圓此乘客數三十一萬

○電氣鐵道の成績　原高平宮地茂春の忍町を經て北埼玉郡に電氣鐵道の願書を出せし由なるが其荒川の水力を利用して機を廻轉せしめ以凡そ三十萬圓の見込なりと云ふ

○紡績絲の取引　會社へ約定せし品の繭絲の相場は追々に手疲し濟みとなりたるに就て多少掛念すべき昨日までに鐘ケ淵紡績の約定もなかりしなりたるよしなりたるよしなる

○紡績絲又々騰貴　紡績二十手絲の紙上に記載する絲の製造は殆ど中止なる際取引所場面に於て盛々騰進の勢にあり

○參宮鐵道の成績　今後一層躍進の傾向なるべからず云々とあれども漢華の同絲は

○參宮鐵道の成績　今後一層躍進の傾向なるべからず云々とあれども漢華の同絲は

○參宮鐵道の成績　今後一層躍進の傾向なるべからず云々とあれども漢華の同絲は